

2023年5月26日

各 位

会社名 株式会社ピーエス三菱
代表者名 代表取締役 森 拓也
社長執行役員
(コード番号1871 東証プライム)
問合せ先 管理本部副本部長兼総務部長
宅野 伸二
(TEL. 03-6385-8002)

高強度コンクリートを用いた低桁高PC桁工法

「ダックスビームHC工法」NETIS登録のお知らせ

株式会社ピーエス三菱（本社：東京都中央区 代表取締役社長執行役員：森 拓也）が開発した、高強度コンクリート（設計基準強度 100N/mm^2 ）を用いた低桁高プレストレストコンクリート（PC）桁工法「ダックスビームHC工法」が、国土交通省の新技术活用のためのデータベースシステムである新技术情報提供システム（NETIS：New Technology Information System）へ登録されましたのでお知らせします。

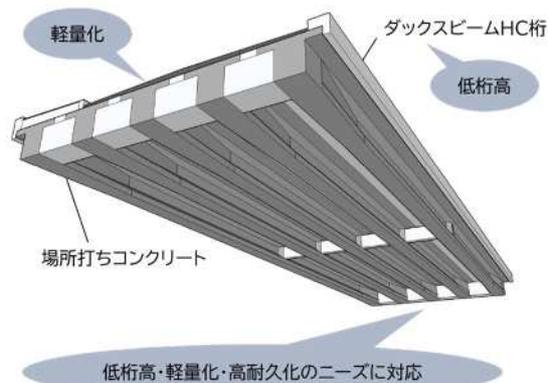
【NETIS登録情報】

技術名称：高強度コンクリートを用いた低桁高PC桁工法「ダックスビームHC工法」

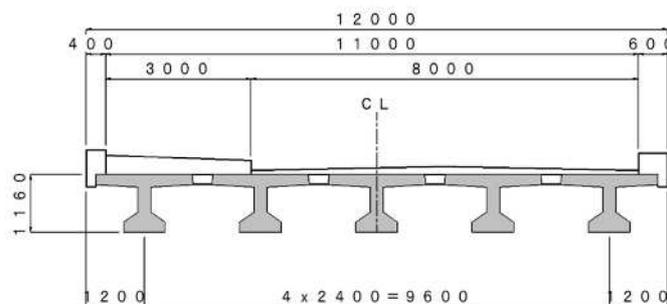
NETIS番号：KT-230027-A

掲載先URL：<https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-230027%20>
（国土交通省 新技术情報提供システムHPより”ダックス”で検索）

●ダックスビームHC工法のPC-T桁橋への適用イメージ



●支間長35mの主桁配置例



【今後の展開】

近年、河川改修や都市再開発事業において桁下空間の確保など、建築限界の制限による厳しい架橋条件により、低桁高橋梁の需要が増加しております。そのような厳しい架橋条件においても「ダックスビームHC工法」は、高強度コンクリート（設計基準強度100N/mm²）を用いることで、通常のPC桁（設計基準強度50～60N/mm²程度）に比べ、より低い桁高でより大きな支間に対しても適用可能な工法となっております。また、国土交通省では2020年度より、さらなる新技術活用を促進するため、一部を除く直轄土木工事においてNETIS登録技術等の新技術活用を原則として義務化するとしており、今回のNETIS登録を受けた実橋梁での採用促進が今後益々期待できます。

今後も当社は、求められる社会的ニーズに対して、新たに開発される材料・構造を活用することで、プレストレストコンクリート技術のさらなる普及拡大に積極的に取り組んでまいります。

(お問い合わせ)

- ・技術に関すること

株式会社ピーエス三菱

本社 技術本部技術部 土木設計グループ TEL：03-6385-8051

- ・営業に関すること

株式会社ピーエス三菱

本社 土木本部土木営業部 土木営業グループ TEL：03-6385-8005

- ・技術紹介（リーフレット）

URL：https://www.psmic.co.jp/technology/civil_eng/bridge_super/pdf/index_06.pdf

以上